

アクションプログラムに基づく個別の取組み

「実施スケジュール」

項 目	実施スケジュール			
	17年度上期	17年度下期	18年度上期	18年度下期
1. 事業再生・中小企業金融の円滑化				
(1) 創業・新事業支援機能等の強化				
①融資審査態勢の強化等	<ul style="list-style-type: none"> 「目利き」能力向上のため「目利きの業種別経営支援講座」を受講します。 	<ul style="list-style-type: none"> 営業店との連携による企業訪問を実施します。 「目利き」能力の研修プログラムを開催します。(営業店担当者の研修) 	・同 左	・同 左
②産学官の更なる連携強化等	<ul style="list-style-type: none"> 「北陸ライフケアクラスター研究会(HLC)」への人的派遣を実施します。 「北陸ライフケアクラスター研究会(HLC)」の活動を通じて地域の産業クラスターを創出し、進出するベンチャー企業に対して融資支援を行います。 「北陸地区産業クラスターサポート金融会議」へ参加します。 	・同 左	<ul style="list-style-type: none"> 「北陸ライフケアクラスター研究会(HLC)」の活動を通じて地域発ベンチャー企業の育成、融資支援を行います。 「北陸地区産業クラスターサポート金融会議」へ参加します。 	・同 左
③地域におけるベンチャー企業向け業務に係る外部機関等の連携強化等	<ul style="list-style-type: none"> 「福祉医療機構」との業務提携を行います。 「中小企業基盤整備機構」との業務連携を行います。 業務提携機関との協調融資を積極的に推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 「きんしんビジネスフェア2005」を10月に開催します。 外部機関等の主催のセミナーや交流会に参加します。 金沢商工会議所主催の「創業塾」に参加し、ベンチャー企業に対する融資支援を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 「日本政策投資銀行」との業務提携を検討します。 政府系金融機関等との協調融資を積極的に推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部機関等の主催のセミナーや交流会に参加します。 「知的財産権担保融資」や「メザニン投融資」等のベンチャー企業支援融資の新商品に関するノウハウやスキームを習得します。
(2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化				
①中小企業に対するコンサルティング機能、情報提供機能の一層の強化	<ul style="list-style-type: none"> 「中小企業基盤整備機構」と業務連携の覚書を締結します。 ビジネスマッチング推進のため、支店長・渉外代理を対象としたコーディネーター研修会を開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> 北陸地区では初めて、当金庫主催の商談会「きんしんビジネスフェア2005」を10月に開催します。 「中小企業基盤整備機構」との連携によりセミナーを開催し、企業の経営課題解決に連携して取組みます。 「東京ビジネスサミット」に参加する出展企業を募集します。 「しんきんビジネスマッチングサービス」に登録する企業を募集します。 「M&Aセミナー」を10月に開催します。 	・北陸3県の金融機関と連携し、合同でビジネスフェアを開催することを検討します。	・同 左

項 目	実施スケジュール			
	17年度上期	17年度下期	18年度上期	18年度下期
②中小企業支援スキルの向上を目的とした取組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> 経営支援先の改善計画書に基づき改善状況を検証する能力の向上と、必要に応じ支援活動ができる人材の育成を行います。 全国信用金庫協会、北陸地区信用金庫協会及びその他団体主催の中小企業支援関連の「目利き能力養成講座」等に職員を派遣し知識・能力の向上に努めます。 中小企業大学校に派遣するため、入学試験を受験します。 中小企業診断士資格取得奨励のため、通学形式講座募集の案内を通達します。 	<ul style="list-style-type: none"> 新任支店長が「経営支援アドバイザー（当金庫認定）」資格を取得します。 庫内講師が中小企業再生に関する研修会を開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営支援先の状況を把握し、支援活動ができる人材の育成を継続していきます。 全国信用金庫協会、北陸地区信用金庫協会及びその他団体主催の中小企業支援関連の「目利き能力養成講座」等に職員を派遣し、人材育成に努めます。 新任支店長及び次長が「経営支援アドバイザー（当金庫認定）」資格を取得します。 	<ul style="list-style-type: none"> 庫内講師が中小企業再生に関する研修会を開催します。
③要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組みの強化及び実績の公表等	<ul style="list-style-type: none"> 企業支援先を選定します。 経営改善計画書の予算と実績の管理を継続実施します。 支援企業先に営業店担当者と連携して帯同訪問をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営支援室の人員を増員します。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業支援先を選定します。 経営改善計画書の予算と実績の管理を継続実施します。 支援企業先に営業店担当者と連携して帯同訪問を行います。 内容の充実を図り実績を公表します。 	<ul style="list-style-type: none"> 同 左
(3) 事業再生に向けた積極的取組み				
①事業再生の早期着手に向けた取組みの促進及び多様な事業再生手法の一層の活用	<ul style="list-style-type: none"> DDS、事業再生ファンドについては導入に向けて検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> 同 左 	<ul style="list-style-type: none"> DDS手法を取り入れた事業再生を具体的に検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> 同 左
②外部機関の事業再生機能の一層の活用及び金融実務に係る専門的人材・ノウハウの活用	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業再生支援協議会等との連携を通じて政府系金融機関との協調融資でRCC債権の肩代りを実施し、企業再生を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部の専門家を招き、お客様を含めて金融実務の研修会を開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> 同 左 	<ul style="list-style-type: none"> 同 左
③再生企業に対する支援融資の拡充	<ul style="list-style-type: none"> エクジットファイナンスについての外部研修に参加し、導入に向けた対応を検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> シンジケートローン等の活用によるエクジットファイナンスの導入に向けて政府系金融機関等との情報交換・連携交流を図ります。 DIPファイナンスは政府系金融機関等との連携にて個別に対応します。 	<ul style="list-style-type: none"> 同 左 	<ul style="list-style-type: none"> 同 左
④再生支援実績に関する情報開示の拡充、再生ノウハウ共有化の一層の活用	<ul style="list-style-type: none"> 再生ノウハウの共有化を図るため研修会を開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> 同 左 	<ul style="list-style-type: none"> 再生ノウハウの共有化を図るため研修会を開催します。 企業支援先の具体的な成功事例をホームページで開示します。 	<ul style="list-style-type: none"> 同 左
(4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等				
①担保・保証に過度に依存しない融資の推進	<ul style="list-style-type: none"> 創業・新事業支援商品「新進企管」を推進します。 保証極度額の設定基準についての研修会を開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> 財務制限条項の内容と活用について幅広い検討を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 創業・新事業支援商品「新進企管」を推進します。 信用リスクに見合った適正金利体系の高度化を検討します。 スコアリングモデルの構築を検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> 財務制限条項を織り込んだ約定書を策定し活用します。

項 目	実施スケジュール			
	17年度上期	17年度下期	18年度上期	18年度下期
②中小企業の資金調達手法の多様化等	<ul style="list-style-type: none"> 「私募債」「売掛金債権担保融資」を継続的に推進します。 「きんしん北陸税理士会提携ローン」「TKC経営者ローン」を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> CLOについては、中小企業金融公庫との連携を検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> 同 左 中小企業金融公庫のCLOへの参加を具体的に検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> 特許・著作権等の知的財産権担保融資、ノンリコースローン、プロジェクトファイナンス等については、外部機関の研修に参加し、知識を習得します。
(5) 顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス担当責任者研修、コンプライアンス・オフィサー研修を開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> 「チェックリスト」の改訂を行います。 「コンプライアンス便り」を定期的に発行します。 	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス担当責任者研修、コンプライアンス・オフィサー研修を開催します。 信用金庫取引約定書以外の契約書にも「重要事項説明書」を作成します。 手形割引、手形貸付について、契約条件の記載された書面を作成します。 窓口アンケートの内容を見直します。 	<ul style="list-style-type: none"> 「与信取引に関する顧客への説明態勢に係る規程」を改訂し、職員への説明会を実施します。
(6) 人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 自己啓発ガイドの内容を見直し企業支援能力向上につながる講座の充実を図ります。 全国信用金庫協会、北陸地区信用金庫協会及びその他団体主催の中小企業支援関連の「目利き能力養成講座」等に職員を派遣します。 中小企業大学校に派遣するため、入学試験を受験します。 中小企業診断士資格取得奨励のため、通学形式講座募集の案内を通達します。 	<ul style="list-style-type: none"> 新任支店長が「経営支援アドバイザー（当金庫認定）」資格を取得します。 庫内講師が中小企業再生に関する研修会を開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国信用金庫協会、北陸地区信用金庫協会及びその他団体主催の中小企業支援関連の「目利き能力養成講座」等に職員を派遣し、知識・能力の向上に努めます。 新任支店長及び次長が「経営支援アドバイザー（当金庫認定）」資格を取得します。 	<ul style="list-style-type: none"> 庫内講師が中小企業再生に関する研修会を開催します。
2. 経営力の強化				
(1) リスク管理態勢の充実	<p>(信用リスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> 与信ポートフォリオの分析項目及び書式を検討します。 <p>(市場リスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要指標の一元管理を検討します。 <p>(オペレーショナルリスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> データの収集・蓄積を行い、計測手法を検討します。 <p>(統合リスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種リスクの限度額を算出します。 	<p>(パーゼルⅡ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準的手法で平成17年3月期の信用リスク額を試算します。 	<p>(信用・市場・オペレーショナルリスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> 左記取組みを継続し、一層の管理態勢の強化を図ります。 <p>(統合リスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> 統合リスク管理の本格的な導入を目指し、リスク資本の配分方法等の管理手法を検討します。 	<p>(パーゼルⅡ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準的手法で平成18年3月期の信用リスク額を試算します。
(2) 収益管理態勢の整備と収益力の向上	<ul style="list-style-type: none"> お客様の経営内容を把握しランクアップに努めます。 倒産確率のデータを蓄積します。 「リスク調整後の収益管理システム」の設計・開発、データを検証します。 	<ul style="list-style-type: none"> 「リスク調整後の収益管理システム」の運用テストを行います。 信用格付の区分を見直し、企業格付制度の再構築を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 「リスク調整後の収益管理システム」の運用を開始します。 企業格付制度を導入します。 	<ul style="list-style-type: none"> リスク調整後の収益管理システムを定着させます。

項 目	実施スケジュール			
	17年度上期	17年度下期	18年度上期	18年度下期
(3) ガバナンスの強化				
①総代会の機能強化に向けた取組み	・「利用目的の同意書」の徴求を行います。		・総代会の仕組等に、より理解を得られるように開示方法の充実を図ります。 ・総代に対するアンケート調査の方法、内容等について検討します。	・同 左
②半期の開示		・継続して半期の情報開示を行います。	・四半期開示を検討します。	・同 左 ・継続して半期の情報開示を行い、内容の充実を図ります。
(4) 法令遵守（コンプライアンス）態勢の強化				
①営業店に対する法令等遵守状況の点検強化等	・「コンプライアンス等小委員会」を設置します。 ・代表役員による営業店訪問を行います。 ・必須検定試験としているSCO、ACOの資格者を育成します。 ・コンプライアンス担当責任者研修、コンプライアンス・オフィサー研修を開催します。 ・コンプライアンスに関する臨店指導を実施します。 ・専担者による心の問題のケア対策を実施します。 ・各部署毎の「コンプライアンス・マニュアル」を策定します。	・外部コンサルタントによる組織のチェックを実施します。	・同 左	・同 左
②適切な顧客情報の管理・取扱いの確保	・個人情報の台帳整備を行います。 ・個人情報管理態勢に係る一斉点検を実施します。 ・個人情報管理態勢に係る監査を総合監査の一環として実施します。 ・私物カバンの執務スペース内への持込を禁止します。 ・カメラ付き携帯電話の執務スペース内での使用を禁止します。 ・携帯電話へお客様情報を原則登録禁止とします。 ・個人情報に係る事務取扱いの「Q & A」を作成します。 ・パソコンのアクセスログの管理・分析を行います。 ・外部へ発信するメールを監視します。 ・FAX誤送信防止のためのシステム導入を検討します。	・個人情報保護に係る教育・研修を実施します。 ・文書取扱規程の整備を行います。 ・個人データへのアクセス権限の適正な付与を行います。 ・FAX誤送信防止のためのシステムを導入します。 ・パソコン上の個人データについて暗号化を実施します。 ・業務委託先について、個人情報管理態勢の再調査を行い、個人情報の取扱いについて安全管理措置が取られているかを確認します。	・同 左	・その他組織的・人的・技術的安全管理措置を講じ、個人情報管理態勢の強化を図ります。

項 目	実施スケジュール			
	17年度上期	17年度下期	18年度上期	18年度下期
(5) ITの戦略的活用	<ul style="list-style-type: none"> 次期勘定系システムの仕様内容を確認し、事前の検証を行います。 渉外支援システムの更改を完成します。 	<ul style="list-style-type: none"> 次期勘定系システムの検証を継続的に行います。 次期システムの導入に向けた営業店研修を行います。 情報系及び次期勘定系通信回線の速度アップとバックアップ回線を敷設します。 情報系サーバの更改を検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> 次期勘定系システムの共同運営・開発のための新会社を設立します。 システム運営管理業務を新会社にアウトソーシングします。 収益管理システムを更改します。 営業店事務の本部集中と合理化を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 金融犯罪等防止のためのシステム対応を検討します。 端末機によるイメージ処理の導入を検討します。
(6) 協同組織中央機関の機能強化		<ul style="list-style-type: none"> 信金中央金庫の「ポートフォリオ分析」を受けて、有価証券運用・リスク管理に関する意見交換会を実施します。 業界の先進事例を収集します。 		・同 左
3. 地域の利用者の利便性向上				
(1) 地域貢献等に関する情報開示				
①地域貢献に関する情報開示	<ul style="list-style-type: none"> ディスクロージャー誌にISO認証取得と「賑わい回廊ミュージアムきんしん」の情報を開示します。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部経営コンサルタント会社と連携したISO認証取得の仲介業務等の内容を開示します。 ISO認証取得のための融資商品の内容を開示します。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全を目的とした新たな融資商品の内容を開示します。 企業先支援の具体的な成功事例をホームページに開示します。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全を目的とした融資の実績件数、金額を開示します。
②充実した分かりやすい情報開示の推進	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全に関する金融サービスの提供をホームページに開示します。 地域貢献活動の内容をミニディスクロージャー誌に開示します。 		<ul style="list-style-type: none"> 地域貢献活動の内容をビジュアルに表現し、分かりやすくミニディスクロージャー誌に開示します。 	<ul style="list-style-type: none"> お客様の意見はQ & A方式にてホームページに開示します。
(2) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> 「ご意見箱」、「目やす封書」に寄せられたご意見を職員に開示します。 	<ul style="list-style-type: none"> お客様満足度に関するアンケート（CS調査）を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> お客様のご意見に対する回答を営業店に掲示します。 	<ul style="list-style-type: none"> お客様満足度に関するアンケート（CSを調査）を引き続き実施します。 お客様のご意見に対する取組み内容をホームページに開示します。
(3) 地域再生推進のための各種施策との連携等	<ul style="list-style-type: none"> 金沢、白山、小松、加賀、砺波商工会議所及び富山県、石川県商工会連合会との提携ローンを取扱います。 支店長会議において「新たな企業連携による産業の創造」を趣旨とした「石川県産業革新戦略」について説明を受け認識を高めます。 「石川県産学連携コーディネーター協議会」にオブザーバー参加し、情報の収集・交換を行います。 「北陸地域新連携事業意見交換会」に参加し、情報収集、情報交換を行います。 「新連携支援事業」推進に関する職員向け勉強会を開催し中小企業への広報活動を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 「北陸ライフケアクラスター研究会（HLC）」のNPO法人化に伴い、人員を派遣します。 	・同 左	・同 左